

集めて使うリサイクル
 発行 集めて使うリサイクル協会
 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-12-3 船場グランドビル9階
 TEL .06-6271-8665 FAX .06-6271-8666
 E-mail : info@r-kyokai.org URL http://www.r-kyokai.org/

特定非営利活動法人／集めて使うリサイクル協会

2023年 9月30日発行

協会報 Vol.51

今回の総会は、本年5月に和田代表理事が逝去し空席になっていた代表理事に、理事の推薦を受け理事会で西田事務局長が選任されたことを最初に報告、議長に須田理事を選任、正会員総数38名出



令和5年6月26日(月)エルおおさか(大阪府立労働センター)において、特定非営利活動法人集めて使うリサイクル協会の令和5年度通常総会を開催いたしました。

集めて使うリサイクル協会 令和5年度通常総会

日時：令和5年6月26日(月)
 場所：エルおおさか(大阪府立労働センター)



副代表理事 大和板紙株式会社代表取締役 北村 貴則氏

令和4年度は、社会生活や企業活動に大きな影響をもたらしたコロナ禍から、徐々に抜け出し可能な限り正常な活動に近づけるべくスタートした1年ではありましたが、過去3年余りの特殊な期間が



代表理事 集めて使うリサイクル協会 西田 克彦 事務局長



副代表理事 株式会社須田商店 須田 充訓氏

また積極的な事業の拡大は図れなかったものの、当協会が組み上げてきた福祉作業所やエコ酒屋、さらには酒造関連事業者による紙パックのリサイクルシステムは、コロナ下でも安定的な実績を納めることを証明する機会ともなりました。



もたらした停滞感は一気に払拭できるものではなく、またこの間に各プロジェクトの参加企業担当者の交代なども相次ぎ、再スタートのための準備期と位置付けられる1年となりました。

村貴則・須田充訓両理事が就任することとなりました。

北村氏は古紙再生促進センター近畿地区委員長、須田氏は大阪紙料協同組合理事長を担っておられることでもあり、当協会の「集めて使う」活動がより活性化していくものと思われま

特定非営利活動法人 集めて使うリサイクル協会 令和5年度 役員					
代表理事		副代表理事		副代表理事	
NPO法人 集めて使うリサイクル協会 西田 克彦		大和板紙株式会社 北村 貴則 代表取締役		株式会社須田商店 須田 充訓 代表取締役	
理事	理事	理事	理事	監事	監事
社会福祉法人新生活会 理事長 高田 嘉敬	株式会社田中商店 代表取締役 田中 利和	コアレックス信栄株式会社 取締役専務執行役員 佐野 仁	大和紙料株式会社 取締役営業部長 塩瀬 昌宏	常裕パルプ工業株式会社 代表取締役 井川 達也	NPO法人 大阪ごみを考える会 代表 森住 明弘



追悼 和田 志津子 代表理事

集めて使うリサイクル協会を、設立当初より、代表として20年以上担ってきた和田志津子代表理事が、本年5月5日永眠いたしました。

ここ3年程は膠原病ほかいくつかの病を抱え、健康状態も芳しくはありませんでしたが、丁度コロナが蔓延しているときでもあり、自宅でじっくり療養してコロナが落ち着いてから、また元気な姿が見られるものと考えていましたので、非常に残念でなりません。直接の死因は口腔がんとのこと、享年78歳でした。



6月26日(月)集めて使うリサイクル協会の令和5年度通常総会開催後の懇親会では、会場に生前の和田さんの写真を掲出、参加者全員で在りし日の和田さんを偲びました。

生前元気に活動されていた写真をご覧いただき、故人を思い起こし偲んでいただければ有難いと思います。

いつも笑顔を決やさず元気に、全国を駆け巡っていた和田さんでしたが、活動の原点は、生地である九州時代での生協活動にあったと思います。

家族の健康と未来を守っていきたく願う母親の想いから出発、平和な社会と安心・安全な環境づくりのために様々な運動を創り出すという生協の活動の中で培われ経験してきた問題意識がその後の生き方に大きく影響したのと思われま

関係する周辺の人を暖かく包み、触れ合う人と自然に良好な関係を生み不思議な「われらのお母さん」であったと言えます。

いつまでもその笑顔は、和田さんを知るものの心に生きています。ご冥福をお祈りします。

合掌



コアレックス信栄の取り組みについて



講師 佐野 仁氏

各地にグループ会社を擁するコアレックスは、地域の古紙再生品を地域で使う「紙の地産地消」に加え、もしもの災害時には各社で連携して被災地への安定供給を可能にしています。

このコアレックスグループ全体のネットワークは、家庭用再生紙の全国シェア47%を担っています。

コアレックスの独自技術は、保有する最新鋭原料設備により、金属やプラスチックなどの異物も、

人の手を借りることなく分別除去するため、機密文書なども未開封・無選別で溶解処理し、情報漏洩を防いでいます。



コアレックスが目指す資源循環型社会に向け、1社の取り組みから賛同企業との取り組みへと、現在様々な企業との連携を強化拡大しています。

コアレックス信栄株式会社 取締役専務執行役員 佐野 仁氏

が、さらに2030年に向けた目標として、ノーパレット化・リサイクルラッピングフィルムの導入などにも取り組んでまいります。



京都市環境保全活動推進協会とその活動内容について



講師 中尾 雅幸氏

(公財)京都市環境保全活動推進協会は2019年にそれ以前から活動していた京都市ごみ減量推進会議と京のアジエンタ21フォーラムの3団体が統合して新たな組織となり、それぞれの活動を内部に取り込み継続発展させていっています。

協会を構成するそれぞれの団体の活動についてご紹介させていただきます。



公益財団法人 京都環境保全活動推進協会 経営改革監 中尾 雅幸氏

旨のもと、531の団体が会員として加盟し活動しています。

京都市立の小中学校の給食用牛乳パックを「めぐレットペーパー」と名付けたトイレットペーパーにリサイクルする事業やごみの発生抑制と再利用の2Rに重点を置いた取り組み他ごみ減量活動支援を行っています。

協会はこれらの活動を内部に包括すると同時に、京エコロジーセンターの管理運営を通じて、環境人材の育成や様々な企業団体とのネットワーク構築を図っています。



資源リサイクルによる福祉作業所活性化事業

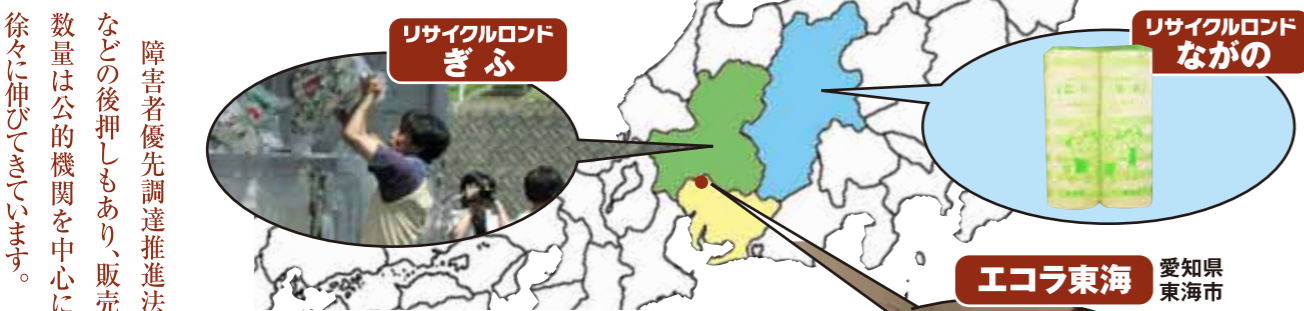
リサイクルロンド事業

リサイクルロンド ぎふ・ながの

集めて使うリサイクル協会は、発足当初より古紙リサイクルを通して各地の福祉作業所と関係を持つてきました。その一つである福祉作業所による紙パックの回収と、その再生品のトイレットペーパー等の販売という地域の循環システムは、地域の支援者に支えられ他と競合することもなく、作業所の安定した収入源となつていきます。

ぎふ・ながの 2022年実績 (2022年4月～2023年3月)

地域ネットワーク	リサイクルロンドぎふ 2000年スタート 21団体	リサイクルロンドながの 2002年スタート 61団体	ぎふ・ながの 合計
事務局	NPO法人 リサイクルロンドぎふ	NPO法人長野県 セルブセンター協議会	
回収	66,140kg	58,670kg	124,810kg
販売 トイレットペーパー ティッシュペーパー	525ケース	3,464ケース	3,989ケース



古紙リサイクルを通しての福祉作業所支援プロジェクト

東海市で地域の福祉作業所が取り組む学乳パックのリサイクル事業も、学校の休み期間を除き毎日の決まった数量、決まった作業が繰り返すことで計算できる作業となっており。また回収先の学校へのトイレットペーパー納入も、個包装対応によりさらに拡大安定した仕組みとなつてきています。

これら福祉作業所が動かす地域の紙パック循環システムは、他の自治体などからも関心を集め、問い合わせも寄せられてきています。

取組み	エコーラ東海 市内18校の学乳パック
回収	12,740kg
販売 トイレットペーパー ティッシュペーパー	292ケース

(2022年4月～2023年3月)

酒パツクリサイクル促進協議会

第16回定期総会

令和5年7月5日、日本酒造虎ノ門ビルにおいて第16回定期総会を開催しました。

総会の後開催した情報交流会を含め36名の参加がありました。今年度は役員改選の年でもあり、新たな役員を選任すると同時に、コロナ等で停滞していた活動を、可能な限りコロナ前の状態に戻し会員同士が接点を持つ機会を増やしていくことが確認されました。

また古紙の最新動向を古紙ジャーナル社の代表取締役本願貴浩氏にご講演いただきました。



灘伏見地区酒造メーカーから出る充填損紙の昨年1年間の回収実績は、次の通りです。

灘伏見循環システム

地区	メンバー	回収実績
灘地区	オエノンホールディングス 大関 / 菊正宗酒造 / 小西酒造 / 沢の鶴 / 辰馬本家酒造 / 日本盛 / 白鶴酒造 / 関西ホトリング	47,110kg
伏見地区	黄桜 / 月桂冠 / 宝酒造 伏見清酒パック協同組合 (北川本家 / 齋藤酒造 / 豊澤本店 / 都鶴酒造 / 山本本家)	28,210kg

- ・天パット 4社 1万枚
 - ・銘柄貯金箱 3社 1,500個
 - ・手提げ袋 4,000枚
 - ・オリジナルノート 2種 1,000冊
- などがそれぞれの企業で作られました。